緑あふれる自然の宝庫
白旗山に出掛けよう！

豊かな自然環境に恵まれた清田区。
なかでも、区のシンボル「白旗山」（白旗山都市環境林）は、
その雄大な自然が、四季折々の表情で訪れる人たちの目を楽しませています。
今月は、白旗山の中でも「札幌ふれあいの森」にスポットを当て、その楽しみ方を紹介します。

クイズの森コース

クイズを解きながら歩く家族向けのコース。地面が柔らかくて歩きやすく、山道気分を気軽に味わうことができます。

距離：約 1.5 キロメートル
所要時間：約 40 ～ 50 分

オニヤンマとわき水探索コース

湿地帯を進み、わき水まで往復するコース。たくさんの生き物が生息し、6 ～ 8 月にはオニヤンマも見られます。

距離：片道約 0.3 キロメートル
所要時間：往復約 20 分

小鳥のさえずりコース

小川のせせらぎや小鳥のさえずりが耳に心地よい、癒しのコース。多いときには 10 種類以上のさえずりが聞こえることも。

距離：片道約 0.5 キロメートル
所要時間：往復約 20 分

コースガイドを持って散策しよう！

区内在住の葉原さん親子３人と一緒に、おすすめコースガイドを手に、ふれあいの森を散策してきました！

散策したのは←この 3 コース！

優羽（ゆう）ちゃん（8 歳）　葉原恵子（はばらけいこ）さん　慶太（けいた）くん（5 歳）

森の入口にある「ふれあいセンター」。森林に関する展示を行っています。

札幌ふれあいの森 おすすめコースガイドを作成!!

テーマは「家族で一緒に」

白旗山の魅力向上と、まちづくりの輪を広げることを目的に活動している「白旗山の魅力を考える会」の有志の皆さんが中心となり、「家族で一緒に楽しめる」ことをテーマにした、札幌ふれあいの森の散策コースガイドを作成し、区内の全小学生に配布しました。

ガイドでは、気軽に散策できる４つのコースを設定し、その見どころ、楽しみ方を紹介しています。

ガイドを片手に、札幌ふれあいの森の自然を満喫してみませんか。

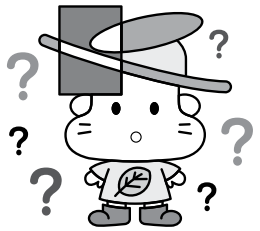
白旗山ってどんなところ？

区のシンボルとして

平成 19 年（2007 年）11 月には区誕生 10 周年を記念して、あしりべつ川・平岡梅林とともに区のシンボルに選定されました。

区ではまちづくりの拠点の一つとして、「白旗山自然探検隊」や「白旗山フェスティバル」（10 月 12 日㈷開催）など自然に親しむイベントを開催したり、区民の皆さんと意見交換をしたりして、その魅力を伝える取り組みを進めています。

清田区が誇る、市最大の市有林

白旗山（標高 321.5 メートル）は区の南西部にあり、その一帯は 1,036 ヘクタール（札幌ドーム約 190 個分）の面積を有する市最大の市有林として、大切に保全されています。

林内には、自然散策や陶芸、木工クラフトなどが楽しめる札幌ふれあいの森、自然体験学習やかんじき散策ができる自然観察の森があります。また、夏は天然芝のサッカー場として、冬は国際スキー連盟公認の距離競技場として通年利用できる白旗山競技場も隣接しています。